

平成 26 年 11 月 8 日

11 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木の丸太生産は好天が続き増加。入荷量はスギを中心に平年を大幅に上回るが、ヒノキは依然として少ない。荷動きは好調で、特にスギ、ヒノキとも中目材の引合い強い。価格は製品の需要不振の中でも、大型工場が積極的な丸太確保に動き、全般的に堅調のまま推移。秋の伐採時期を迎えて高齢級優良材の出材も多く、スギ、ヒノキともに柱材は保合、中目材は強含みで推移。スギの相場が 5 月以降高止まりしていることから、スギの入荷量が大幅に増加しており、10 月の販売量実績は過去最高を記録。

群馬の製材工場の操業状況は順調。製品の販売は、製品市場への出荷少なく荷余り感あるが、原木高で何とか製品単価を維持している状況。製品在庫は多少増加。製品価格は変動少なく安定。原木の出材少なく無い物高で集荷は厳しい。原木在庫は少ないが何とか間に合わせている状況。山林労働者減少により、国有林の伐採が始まると民有林の出材が減少し、原木手当の先行きに不安。

2. 米材

米国産米マツ丸太は、長らく生産調整を行っていたサプライヤーも輸出適材が払底し、価格を上げて集材に躍起の状況。米国国内向けは引続き好調。日本・中国向けが低位な中、国内向け価格が上昇しており産地港頭在庫は少ない。ウェアハウザー社の 11 月積み対日米マツ IS は、前月比 \$ 20 アップの \$ 870 (推定) で決着。米材原木の入・出荷、在庫ともに横這い。国内の米材製材工場は通常の操業に戻したが、合板工場は昨年同期比 15%の減産を継続中。

米製材品の TLT(東京木材埠頭)10 月の入荷量は 29.9 千 m^3 で前月比 8.5%の増、出荷量は 37.8 千 m^3 で前月比 28.4%増、在庫量は 49.6 千 m^3 で 13.7%減。産地情勢は中国向けの引合い弱く、丸太の生産調整が進む中、米国国内向け丸太価格は強含み。DF J-grade の 10-12 月価格は、為替円安と日本からの引合い弱く、\$ ベースで \$ 10-15 値下げしたが、円安分はカバーできず円ベースでのコストアップは避けられない。SPF 2×4J グレードは \$ 540/Mfbm 前後で横這い。荷動きはプレカットメーカーや問屋筋の買い注文が入り、9 月後半一時的に動きあったが、10 月も全体的には悪くない。TLT の在庫量は減少傾向で、不足するアイテムが出て相場値戻しのきっかけになっている。

3. 南洋材

サバは雨期入りで天候悪く出材鈍い。日本向け太材良木が減少し、丸太価格は横這い又は値上がりの状況。為替円安で日本勢は値下げを要求するが、産地側も丸太が高く受け入れず、綱引き状態続く。サラワクもサバ同様太材良木の供給が先細り状態で、丸太価格は引続き高値横這い。PNG ソロモンは悪天候で出材悪く、価格は高値据置。南洋材丸太の入荷は微増、出荷・在庫は横這い。製材品の入荷も横這い。丸太の販売は合板用、製材用とも変化なし。製材品の販売は急激な円安の影響を受け、全ての製品で価格転嫁が進む。特に、ラワン類の平割、棒類は供給少なく、ものがあれば動いている状態。

4. 北洋材

ロシアシベリア地方のアカマツ丸太搬入が始まったが、例年より雨が多く工場に集荷できない状況で、中国内陸や日本向け出材が遅れる。日本の市況低迷により中近東への出荷増える。富山新港の10月の丸太入荷は無く、原板入荷は4.1千 m^3 。在庫は1.5~1ヶ月。価格動向は、丸太はアカマツ・エゾマツ・カラマツともに横這い、製材品は円安の影響で現地製品が2,000~3,000円/ m^3 アップを提示、国産メーカーは横這い。今後は値上げ基調。荷動きは丸太は入荷なく需要無いことから先細り感。製材品は新築物件少なく低調。国内製材工場は丸太、原板とも不採算。稼働状況は丸太入荷減で生産調整。受注状況はほとんどない状態。

5. 合板

原料丸太の相場は国産材とロシア材は横這い、米材は内需好調で強め、南洋材も相変わらず強含みで推移。為替が一層円安に振れたため、今後外材はその影響を免れることはできそうにない状況。9月の国内総生産量22.6万 m^3 のうち針葉樹合板は21.0万 m^3 、出荷量は21.9万 m^3 で7ヶ月ぶりに出荷量が生産量を上回る。在庫量は22.2万 m^3 で依然高水準。販売価格は、12mm針葉樹合板が10月の前半と後半で50円/枚の大幅な値下がり。11月に入りこの状態が続くとは思われないが、メーカーの減産が進んでも実需回復がない限りは市況は弱含み展開と予測。

国産針葉樹合板の荷動きは相変わらず低調で、ここにきて弱含み状況が一層加速。各メーカーとも15%減産を宣言したが、在庫量は期待したほど減らず、今後現状を一変させることは難しく、市況は弱保合が続く。輸入合板はコストアップによる値戻しは浸透しているが、10月はそのスピードが若干鈍る。先行き針葉樹合板は減産との見合いだが、弱保合での推移が予測され、輸入合板は

円安によるコストアップは避けられない状況。流通在庫は、国内合板は潤沢、輸入合板は一部アイテムで品薄感。針葉樹合板の12mm、24mm、28mmが荷余り感。

6. 構造用集成材

原料ラミナの入港は、QTR3 契約量が少なかったことから減少。国産集成材の10月受注は、プレカット加工が幾分出ており、一部メーカーで忙しさが戻る。販売・荷動きとも順調。販売先行きは、年末にかけて輸入が少なくなるので11月までは良好。在庫は予想以上の荷動きで減少が続く。価格は横這い、底値を打った模様。輸入集成材は価格が安定しており、国内物より多少安い程度。入荷は年末にかけて減少。不採算メーカーの減産が続く。

7. 市売問屋

国産材の構造材は、スギ、ヒノキとも実需少なく動きは鈍い状態。今まで好調の間柱の引合いも鈍くなった。造作材はリフォーム需要が一段落し小動き状態。建具用スギ桁平割は好調。外材の構造材は、円安による先高感から一時的に小動きが見られたが、すぐに落ち着き動きは悪い。造作材はリフォーム用スプルーす良材の平割が動き良い。市日の来場者数は減少傾向で、記念市でも来客は少ない。買方の在庫意欲少なく、必要当用買いに徹している。新築物件の減少が響き、荷動きの停滞感強まる。期待の秋需も空振りで、小売、工務店は厳しい状態が続く。

8. 小売

国産材の構造材はスギ、ヒノキ土台・柱とも保合。外材はロシアアカマツ垂木弱保合、米ツガKD角、平割、SPFいずれも保合。造作材はスプルーす良材保合、ナラ・タモ強保合。集成材はWW、RW梁、柱とも弱保合。合板は針葉樹弱保合、ラワン保合。床板・フロア材保合。プレカットの各工場とも受注は回復できず、加工費の値下げも見られる。工務店は年内の仕事を確保した模様だが年明けが厳しい。円安で輸入材の値上がりを懸念。

11月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	↗	→	→
北洋材	丸太	↗	↗	↘
南洋材	丸太	→	→	→
	製材品	→	↘	↘

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

↑ 急増・急上昇
 ↗ 増加・上昇
 → 横ばい
 ↘ 減少・低下
 ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸 入 量		
	計	インドネシア	マレーシア
↘	→	→	→

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材(3m) 2等	→
			スギ中丸太(3.65m) 2等	↗
			ヒノキ柱材(3m) 2等	→
			ヒノキ中丸太(4m) 2等	↗
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等	↘
			スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等	↘
			スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等	↘
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等	→
		スギタルキ3.0×4.0×4m	→	
		ヒノキ柱角(KD) 12.0×12.0×3m 特等	↘	
		ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	↘	
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	↗
		国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ カスケード(カナダ産)	→
			米マツ ISタイプ コースト	→
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	→
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8" 13'	→
			米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16" 13'	→
		米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	→	
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	→
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
			メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
	製材品	産地価格	ホワイトセラヤ 平割(サバ州産)	→
	東京・問屋店頭 渡し価格	同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→	
北洋材	製材品	国内卸売価格 (東京問屋着値)	エゾマツ(3.0×4.0×3.8m) 特等	→
			アカマツ(3.0×4.0×4m) 特等	→
			カラマツ(10.5×10.5×4m) 特等	※
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	→
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	↘
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	↘
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	→
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	→
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	↗
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	↗
			型枠 12.0mm厚 3×6	↗
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	↘